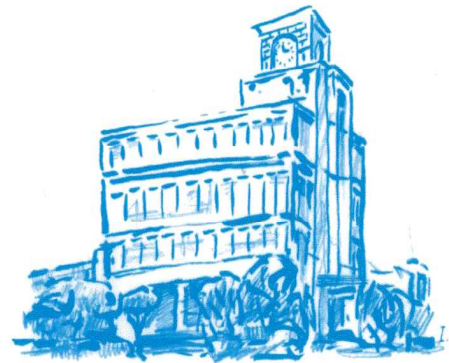


「情報」から「生命」の時代に

伊丹市立総合教育センター
所長 太田 洋子

今年になってから、コンビニの営業時間について見直しが始まっています。事の発端は、大手コンビニのフランチャイズ店のオーナーが、人手不足24時間営業ができなくなったと訴えたことから議論が始まりました。会社側も当初はコンビニの24時間営業は崩せないと突っぱねたようですが、世論の流れに合わせて、態度を軟化させたようです。毎日新聞が3月に実施した世論調査では、コンビニ業界や外食産業で見直しの動きが出ている24時間営業について尋ねたところ、「見直すべきだ」が79%と多数を占め、「見直さなくてもよい」は7%にとどまったそうです。



コンビニエンスストアは、平成の時代とともに急成長した業務形態です。食料品を中心とした物品の販売に留まらず、公共料金の支払い、チケット購入、ATMによる銀行機能とその役割は広がっています。真っ暗な夜でも、コンビニが灯台の明かりになって街の人々の安全を守る役割も果たしているのかもしれませんが。

一方、巷では情報があふれています。電車に乗っても、本を読む人・新聞を読む人よりも圧倒的に多いのがスマホを見ている人です。海外に行っていても、Wi-Fiが繋がる環境であれば、日本のニュースはリアルタイムで入っています。世界は本当に狭くなったと感じます。私自身も、スマホが手放せない日々を送っていますが、「これ以上スマホはいらない」と放り出す時があります。車で移動する際も、昔は地図を見て、必死で車を走らせていましたが、今はカーナビに電話番号を入れれば、目的地まで何も考えずとも連れて行ってくれます。ナビの便利さを享受しつつも、あまりにも「覚えない」「考えない」毎日を過ごしていると、自分の脳が退化しないかと心配になります。

コンビニ業界とスマホやカーナビ、いずれも平成の時代に大きく進化し、人々の生活に当たり前のように入ってきたシステムですが、見直す時期に来ているのかもしれませんが。そんなある日、神戸新聞の記事が目にとまりました。京都大学の広井良典教授が「識者の視点(5月13日付)」で書かれた「情報から生命追求へ」です。広井先生は「公共政策」を専門とされており、コミュニティ・スクールの設置において先生の著書を読んで参考にさせていただいたことがあります。先生は「私自身はうまく使える部分はAIをさまざまな場面で活用しつつも、『ポストAI』ないし『ポスト情報化』の時代を展望すべき段階に来ているというスタンスに立っている」「私たちはAIをうまく活用しながら、次の段階の『生命』を基本コンセプトに据えた、人間性豊かな社会を構想する時代に入っている」と述べています。「令和」は、原点回帰ともいえる「人間・生命」というものについて、改めてみんなで考えていくべき時代になるのかもしれませんが。

ICTで変える！主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善



主体的・対話的で深い学びの実現は、教師だけでなく、児童生徒も積極的なICT活用が必要！

3つの視点に立った授業改善

- 主体的な学びの視点
- 対話的な学びの視点
- 深い学びの視点

問題解決的な
学習過程

課題把握

課題追究

課題解決

振り返り

授業改善の
視点

学ぶことに
興味関心を持つ
見通しを持つ

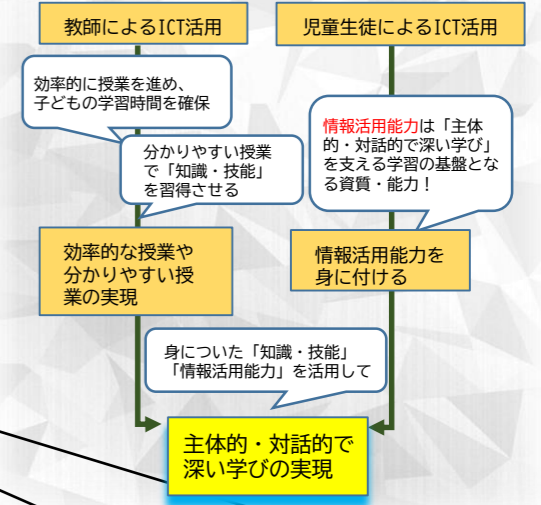
学ぶことに
興味関心を持つ
情報を精査して
考えを形成する

教職員や地域の人の
対話・先哲の考えを
手掛かりに考える
問題を見出して
解決策を考える

児童生徒同士の
協議を手掛かりに
考える
多様な表現方法を
用いて対話する

知識を相互に
関連付けて
より深く理解する

自己の学習活動を
振り返りにつなげる
自己のキャリア形成の
方向性と関連づける



大型提示装置
学習内容に関連した写真や映像などを見せることで、興味関心を持たせることができます。また、拡大したり書き込んだりして注目させることもできます。

デジタルコンテンツ
デジタル教科書や資料集など、デジタルコンテンツを活用することで、高品質で分かりやすい教材を簡単に見せることができます。

実物投影機
教科書やノートはもちろん、立体物でも投影できるので、児童生徒と同じ教具を使って実演することができます。

シュミレーション教材
児童生徒自身が教材を操作しながら試行錯誤することで、イメージを持ちやすく、考えをより深められます。

インターネットやデジタルコンテンツ
情報収集する場合は、Webサイトのほかにも、デジタル百科事典やデータベースなど、信頼のおける情報源を複数利用できるようにしておくことが大事です。

タブレットPCのカメラ機能やデジタルカメラ
例えば植物観察や地域の取材などでカメラを利用して、自分たちの調べたいことを撮影したり、教室に戻ってから見返して確認したりできます。

デジタルノートや小型ホワイトボード
自分の考えを表現する際、デジタルノートは多様な表現が可能です。やり直すことも簡単です。また、小型ホワイトボードであれば気軽に表現できます。

デジタルノートや小型ホワイトボード
考えをまとめたデジタルノートや小型ホワイトボードはそのままペアや班での話し合いに使えます。話し合いの内容を書き足していくことで、考えをより深められます。

無線画像転送装置
学級全体で考えを発表するときは、デジタルノートやタブレットPCで撮影したホワイトボードを、大型提示装置に投影します。複数の考えを一斉に表示して、比べたり分類したりできます。

ファイルサーバーやタブレットPC
これまでの学習で作成したデジタルノートや成果物を見直すことで、自分の学びを振り返ることができます。

タブレットPCやデジタルカメラ
学習活動や板書を撮影しておき、次の時間や単元の終わりに見せることで、これまでに学んだことの振り返りがしやすくなります。

「私にもできる！ ICTで授業改善のコツ」リーフレット
一東北大学大学院情報科学研究科×内田洋行教育総合研究所 共同研究—
<http://ueric.uchida.co.jp/index.cfm/14,3535,50,htmlpdfより>

★
大型提示装置（電子黒板、大型ディスプレイ、液晶プロジェクター）を常設して、活用しましょう！

1. 授業の時間をICT機器の準備で **費やさないために！**
2. 先生も児童生徒も普段から使って、 **使いこなすために！**
3. 10月導入予定のタブレット端末との **相乗効果のために！**

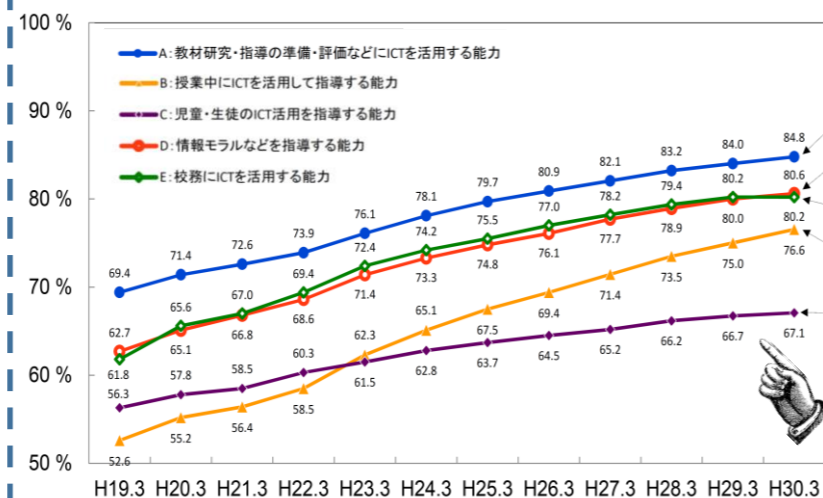


児童生徒のICT活用には、「**情報活用能力**」が必要！

「**情報活用能力**」の育成は、ICT活用の中で！

C：児童生徒のICT活用を指導する能力

教員のICT活用指導力の推移



文部科学省
平成29年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（概要）より
（平成30年3月現在）

ICT活用を進めていくと、
どんな変化が見られるの？

児童生徒の変化

- ①主体的に授業へ取り組むようになる
- ②表現する力がついてくる
- ③思考や応用する力がついてくる
- ④望ましい学級集団が育つ

教師と授業の変化

- ①教師が説明する時間が減る
- ②多くの児童生徒の意見・考えを紹介することができる
- ③互いの考えを聞く、参考にすることができる
- ④児童生徒が主役の授業づくりへと教師の意識が変化する

つけていきたい能力！
どんどん使って、
児童生徒とともに
力をつけましょう！



ICTの活用は、子どもたちの学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業を実現する上で効果的であり、さらに、主体的・対話的で深い学び（いわゆるアクティブラーニング）の実現に寄与するものです。

ちょっと一言

先生たちの意識改革

ドラえもんは、のび太とドラえもんです。主人公なんだから、物語に登場する回数は圧倒的に多くなっていますよね。それでは、学校の主人公はだれでしょう？もちろん、児童生徒！です。もちろん、児童生徒！です。もちろん、児童生徒！です。授業の中で子どもたちが、活躍する場面を増やすべきではないでしょうか。手を挙げてクラスで発表する以外にタブレットに入力、グループ間のチャット機能を使うなど、ICTを利用して発表の形態を多様化すべきです。

ICTを利用して、児童生徒が主人公の学校へ！

さあ、研修会にいこう。

伊丹市立総合教育センター（選択研修）

平成31年度 夏季研修・講座申込案内

6.20現在

夏季研修
申し込み

別途案内

【研修の申込みについて】
各学校園長あて申込様式を送付しております。
管理職を通してお申込みの上、ご参加ください。

<p>1 7/25 (木) 14:00~16:00 総合教育センター</p> <p>対象 校長等</p> <p>トップリーダー研修②</p> <p>岐阜聖徳学園大学 玉置 崇 教授 「新学習指導要領を踏まえた元気の学校づくり」</p>	<p>2 7/30 (火) 10:00~12:00 総合教育センター</p> <p>対象 小中特高</p> <p>英語教育実践講座①</p> <p>大阪樟蔭女子大学 管 正隆 教授 「移行期間2年目にすべきことー外国語活動・外国語を円滑に実施するためにー」</p>	<p>3 7/25 (木) 14:00~16:00 総合教育センター</p> <p>対象 小中特高</p> <p>授業力向上講座①</p> <p>兵庫算数授業研究会 会長 加東市立福田小学校 植田 悦司 主幹教諭 「算数科における主体的・対話的で深い学び」</p>
<p>4 7/31 (水) 10:00~12:00 総合教育センター</p> <p>対象 小中特高</p> <p>プログラミング教育研修</p> <p>関西大学 黒上 晴夫 教授 「プログラミング教育について」</p>	<p>5 7/30 (火) 14:00~16:00 総合教育センター</p> <p>対象 小中特高</p> <p>授業力向上講座②</p> <p>神戸大学附属小学校 東 尚平 教諭 「子どもの声で創る算数科授業」</p>	<p>6 8/1 (木) 10:00~11:30 総合教育センター</p> <p>対象 保幼小中特高</p> <p>生徒指導対応力向上研修①</p> <p>小川中法律事務所 小川 中 弁護士 「問題行動が起きた時の対応について」</p>
<p>8 8/2 (金) 10:00~16:45 総合教育センター</p> <p>対象 小中特高</p> <p>道徳教育実践講座①②</p> <p>貝塚市立東小学校 川崎 雅也 校長 「こころを育むー道徳の授業で何を深めるのかー」</p>	<p>9 8/5 (月) 10:00~16:45 総合教育センター</p> <p>対象 小中特高</p> <p>授業力向上講座③④</p> <p>桃山学院教育大学 二瓶 弘行 教授 「物語の授業づくり 1日ぶっ通し講座」</p>	<p>10 8/6 (火) 9:30~11:30 総合教育センター</p> <p>対象 保幼小中特高</p> <p>生徒指導対応力向上研修③</p> <p>神戸松蔭女子学院大学 坂本 真佐哉 教授 「生徒と保護者の元気を生み出すコミュニケーションについて」</p>
<p>11 8/7 (水) 10:00~12:00 総合教育センター</p> <p>対象 保幼小中特高</p> <p>特別支援教育研修①</p> <p>鳥取大学医学部附属病院 大羽 沢子 氏 「算数授業のユニバーサルデザインについて」</p>	<p>12 8/7 (水) 14:00~16:00 総合教育センター</p> <p>対象 保幼小中特高</p> <p>特別支援教育研修②</p> <p>三重大学 松浦 直己 教授 「発達障害のある子への認知行動療法の応用」</p>	<p>8/8 (木) 14:00~15:30 アイフォニックホール</p> <p>対象 保幼小中特高・保護者</p> <p>保護者と教師のための講演会</p> <p>東北大学 川島 隆太 教授 「子育てに生かせる脳科学」</p>
<p>13 8/9 (金) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30 総合教育センター</p> <p>対象 保幼小中特高</p> <p>人権教育研修会</p> <p>うるわ総合法律事務所 仲岡 しゅん 弁護士 ※①午前の部と②午後の部は同内容です。 ※別途案内する伊丹ヒューマンライツゼミと兼ねております。 「性的マイノリティについて」</p>	<p>14 8/19 (月) 14:30~16:00 総合教育センター</p> <p>対象 保幼小中特高</p> <p>センター教育フォーラム</p> <p>教育ジャーナリスト 品川 裕香 氏 特別支援教育土スーパーバイザー 後野 文雄 氏 「ユニバーサルデザインについて」</p>	<p>同時開催 9:30~16:45 総合教育センター他</p> <p>対象 保幼小中特高</p> <p>若手教員のためのスキルアップ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導対応力向上研修③ ライフスキル教育講座 授業力向上研修 幼稚園保育研究講座 冒険教育講座

発行
伊丹市立
総合教育センター
ホームページ
<http://www.itami.ed.jp/>

開館時間
平日 (水以外) 9:00~21:00
水曜日 9:00~17:30
土曜日 9:00~17:00

電話 072-780-2480
FAX 072-780-2482
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1

休館日 日曜 祝日 年末年始

教育相談
電話 072-772-6171 (電話相談)
072-780-2484 (来所相談)
お子様に関する様々な悩みや課題、問題等の相談に応じています。
(電話相談) 平日:10:00~19:00 土曜:13:00~17:00
(来所相談) 平日:10:00~17:00 ※予約制です

こまったことがあったらすぐ相談
兵庫県教育委員会
ひょうごっ子SNS悩み相談
LINEを使って利用できます

